



琢 磨

主 造 律
自 創 規

朝日中通心

生徒数 (令和6. 11. 28 現在) 総数 295 人
1 年 103 人 2 年 104 人 3 年 88 人

令 和 6 年 1 1 月 2 8 日

自分の生き方を求め 今を大切に
朝日中生を育成する

奄 美 市 名 瀬 朝 日 2 9 番 地 1
TEL 52-1195 FAX 53-5650
HP: <http://www.city.amami.kagoshima.jp/asahi-j/>

人生というスパンで……

校長 山 宗功

学校だよりの巻頭言という場にふさわしいかどうかかわからない個人的なことであるが、先日の修学旅行で、教え子と二回目の修学旅行に行くという幸運に恵まれた。安留先生は私の鹿屋市立高須中勤務時代の教え子であり、私は彼女の学級の副担任だった。当時は生徒と教師として、今回は担任と校長としての修学旅行となったが、このようなことはめったにないことだと思ひ、この場を借りて紹介させていただいた。

先生という仕事は、子育て同様、今日やったことが明日成果として目に見える形ですぐに表れるものではない。頑張ってもすぐに結果が出ないと心が折れそうになるが、自分が頑張っていることはいつかどこかで花開くと信じ、教師という仕事を続けてきた。

国語の教科書に井上ひさし作の「握手」という物語がある。恩師であるルロイ修道士がもうすぐ亡くなることをさとった教え子である「私」は、ルロイ修道士に「いつとう楽しかったこと」を尋ねる。ルロイ修道士は、「教え子が社会に出て頑張っている姿を見るときがいつとう楽しい。」と答える。

思春期であり、多感な中学生。現在進行形で我が子や生徒の教育に携わる親や教師は、ともすれば目の前の事象に心を奪われてしまいがちだが、我が子や生徒の人生という長いスパンでその事象を捉えてほしい。成功体験も大事だが、むしろこの時期に重ねた失敗体験こそが、我が子(生徒)の人生を形作る上で大切な体験であり、その失敗体験が後のいい人生の土台となるようにサポートすることが、親や教師の勤めであるように思う。

少し説教っぽくなってしまうが、修学旅行のバスが一番後ろの席で、生徒に慕われながら的確に指導する教え子の教師としての姿に感慨深さを感じながら頭に浮かんだことを書かせていただいた。

夢実現講話・演奏会

十一月九日(土)に本校卒業生のピアニスト・中村 慈音氏をお招きして、夢実現講話を開催しました。

中村さんは、ピアノを弾くことが好きではあったものの中学生時代にはピアノで大きなコンクールに参加して結果を残していなかった中で、自分に自信がもてなかったこと日本の音大は東京に集中しており、学費も高く、進学先についても悩みや不安を抱えていたことなど、当時の心境を語ってくれました。

その中村さんも、フランチリストとの出会いがきっかけとなり、大学三年生のころから留学を意識し、その夢の実現のために努力し続け、ピアニストになる夢を実現しました。

生徒たちは、中村さんの生き方から進路にしっかりと向き合い「忙しい中でも時間を見つけて、学びを深める」ことの大切さを感じとっていました。



県教育委員会 義務教育課 来校

十月三十日(水)に県教育委員会義務教育課の先生が、授業の様子を参観するために来校しました。

落ち着いた雰囲気の中で授業が進められている様子に感心していました。今後引き続き、タブレット端末等を積極的に活用し「分かる授業」の実現に努めたいと思います。



第17回奄美市民体育祭スローガン

We enjoy 「sports」! ~^{とき}楽しもうこの瞬間を~



躍動した市民体育祭

十一月十日(日)に行われた第十七回奄美市民体育祭。上方地区は、下方地区との接戦を制して総合十三連覇の偉業を成し遂げました。二位との点差はわずか二点でした。

本校からも多くの生徒が上方地区の代表選手・役員として参加した市民体育祭。スローガンは本校一年生、井上朝咲子さんが考案しました。

奄美大島の素晴らしい伝統工芸を学んだ「大島紬」の着付け体験

本場奄美大島紬産地再生協議会（以下 紬協議会）の事業で、奄美大島の伝統工芸品である本場大島紬の「着付け体験学習」を3年生を対象に実施しました。この事業は、次代を担う中学生に伝統文化への認識を深めるとともに、本場奄美大島紬の伝統技法や緻密な緋織（かすりおり）等のものづくりの技が地域に根付いていることを発見させることで、郷土愛を育くむことを目的にしています。

普段、着用する機会が少ない大島紬ですが、紬協議会の皆様の協力で気軽に楽しく着付けを行うことができました。心よりお礼申し上げます。



「平和の尊さ」を学んだ修学旅行



2年生は11月11日（月）から3泊4日の日程で修学旅行を実施しました。初日は学校から名瀬港に移動し、フェリーに乗船。翌日、鹿児島新港に到着後、8年前の熊本地震の傷跡が残る熊本城を訪れ、修復された天守の美しさと同時に地震の傷跡と復興のプロセスを実際に目にすることができました。

最終日は、平和公園での平和集会、事前学習を行って臨んだ原爆資料館の見学、長崎市内での自主研修等の活動を行い、生徒が楽しみにしていたグリーンランドを訪れ、充実した時間を過ごしていました。

様々な活動を通し、「見聞を広げる」「規律を守る」「友情を深める」という目標もしっかり達成できました。

また、この修学旅行を企画・運営してくださった旅行代理店の担当者の方、添乗員さん、運転手さん、バスガイドさん、更に保護者の方々や先生方にも「感謝」の気持ちをもつことができました。ありがとうございました。

「協力する大切さ」を学んだ集団宿泊学習

11月12日（火）から13日（水）の2日間、1年生は集団宿泊学習を実施しました。

1日目の活動では、研修始めの式を行った後、地図を頼りに仲間と協力しながら活動するクイズウォークラリー、自然に親しみながら、助け合いの心を学ぶオリエンテーリング、自然の素晴らしさを感じる天体観測等の活動を行いました。2日目は役割を分担しながら、協力しておいしいカレーづくりに取り組みました。どの活動もとても充実した活動になったようです。

集団生活をとおして、「規律の重要性や協力することの大切さ」、「自然に親しんだり、体力の向上を図ったりすること」、「寝食を共にすることで絆を深めること」など多くの学びを得ることができました。何よりも安全に体験学習に取り組むことができ、大きな事故や怪我等もなく無事に終了できたことがよかったと思います。

今後も集団宿泊学習で身に付けたことや学んだことを家庭生活や学校生活で生かしてほしいと思います。1年生のこれからの成長がますます楽しみです。



12月学校行事

【スクールカウンセラー来校予定日 永田先生：4日、11日、18日 丸内先生：6日】

11月27日（水）～29日（金） 2学期期末テスト	14日（土） 校内ロードレース大会①、②、③
4日（水） 校内人権週間	15日（日） 市民総ぐるみ清掃
5日（木） 3年健康教室	24日（火） 終業式、PTA新聞発行
13日（金） 奄美群島日本復帰記念月間における授業（道徳）	25日（水） 日本復帰の日のつどい